

SMOKAの現状と 利用状況



SMOKA 開発・運用メンバー

2012年8月8日
@岡山UM

国立天文台
天文データセンター
小林 正和

目次

- SMOKA の紹介と開発状況
 - SMOKA とは
 - 現状と将来計画
 - 開発状況
- SMOKA の利用状況
 - 利用者数・データダウンロード量
 - SMOKA を使った研究論文
 - 論文での利用用途の傾向

天文データアーカイブ

SMOKAは天文データアーカイブの一つ

- 天文データアーカイブとは
 - ある観測時刻における、ある天体/天域の唯一の記録である観測データを、散逸しないように保存し後の利用に供するもの
- 何のため？
 - 一つの観測データに含まれる情報は非常に多い
観測者の元の意図とは別の研究 に使える可能性がある
 - 再検証可能な科学成果を実現する
データを 再解析して結果を確認・検証 することが可能

SMOKAとは？

SMOKA (**S**ubaru-**M**itaka-**O**kayama-**K**iso **A**rchive)

- ハワイ観測所 8.2mすばる望遠鏡
 - 岡山観測所 188cm望遠鏡
 - 木曽観測所 105cmシュミット望遠鏡
 - 東工大 MITSuME 望遠鏡
 - 東広島天文台(広島大) 150cmかなた望遠鏡
- の公開データを提供するアーカイブ

<http://smoka.nao.ac.jp/>

- 観測者占有期間が過ぎたデータは
SMOKAで公開
- データ請求は要ユーザ登録

	Frames	(GB)	Occupation	Since
すばる	1,872,018	21,204	18 months	1999～
岡山	294,439	2,946	2 years	1991～
木曽	195,527	1,160	1 year	1993～
MITSuME	2,964,015	6,097	1 year	2007～
東広島	56,438	935	18 months	2010～

2012 Aug. 01

SMOKA Science Archive

++ Dear SMOKA users ++

Due to the system trouble, you could not use Data Request via Mail query system (DRM) from June 06, 2012 to June 26, 2012. We are sorry for inconvenience. (Jun.27, 2012)

SMOKA ver 3.3Q

[New Feature]

- **Minor Bodies Search** is released. (Nov. 1 2011)
- **FMOS and HICAO** data from Subaru Telescope are now released. (Aug. 29 2011)

ver 3.3 : We have added Minor Bodies Search module and our system has been reconfigured. (Jan. 07, 2011)

SMOKA provides public science data obtained at Subaru Telescope, 188cm telescope at Okayama Astrophysical Observatory, 105cm Schmidt telescope at Kiso Observatory (University of Tokyo), MITSuME, and KANATA Telescope at Higashi-Hiroshima Observatory. It is intended mainly for astronomical researchers.

SMOKA has been developed and maintained by Astronomical Data Archives Center (ADAC), Astronomy Data Center (ADC), National Astronomical Observatory of Japan (NAOJ).

Resources

- [SMOKA Web Index](#)
- [SMOKA Overview](#) and [How To Search and Request Data](#)
- [Online Help](#)
How to use SMOKA for a detail, and descriptions of reduction method.
- [User Registration](#)
You need to register if you wish to retrieve FITS data.
- [Data Search](#)
Abbreviations for search available data of telescope or observatory are as follows: **SUBARU** (Subaru), **OKAYAMA** (Okayama), **KISO** (Kiso), **MITSuME** (MITSuME), and **HIGASHI-HIROSHIMA** (Higashi-Hiroshima).
[Simple Search](#) (**SUBARU**, **OKAYAMA**, **KISO**, **MITSuME**, **HIGASHI-HIROSHIMA**) : search data from a list of object names
[Advanced Search](#) (**SUBARU**, **OKAYAMA**, **KISO**, **MITSuME**, **HIGASHI-HIROSHIMA**) : search data from various search constraints
[SIP Search \(SIP\)](#) : search your data and astronomical calibrated data.

Remarks

- 2012/05/10**
Part of the data of KOOLS (Okayama Astrophysical Observatory) which had been opened until 2012-05-10, there were incorrect header information. To see the list of frames, please check [here](#).
- 2010/07/07**
We modified our image conversion program since Field Monitor images of Subaru Telescope had been upside down.
- 2009/07/28**
The DIMM (Differential Image Motion Monitor) system at

SMOKAの現状と将来計画

現 Version: 3.3Q

- 新しい観測装置のデータ公開
 - HiCIAO, FMOS (すばる望遠鏡) (2011.08.29-)
- 最近の開発状況
 - 木曽の観測データ(1kCCD, 2kCCD)の位置較正(2010.12.16-)
 - 重複領域検索(後述)
 - 2k-CCD(木曽)を追加 (2010.12.16-)
 - さらに新機能を開発中
 - 移動天体検索(後述) 本格運用中
 - Suprime-Cam(すばる)を公開 (2011.11.01-)
- 今年秋より新計算機システムへの移行作業開始(来年3月から稼働)
新機能の開発より、システムの整理等、移行に向けた準備に重点を移しつつある

SMOKAの現状と将来計画

- 将来計画（現在進行中）

- 位置較正済データの提供：Suprime-Cam, 木曽/2kCCD, ...
- 新規装置のデータ公開：OAOWFC, KWFC, ...
 - KWFC のデータ保存、転送、公開のための準備が進行中
- 品質評価指標を用いた検索
 - 検索できる指標の追加・検索可能装置の拡充
- カタログ作成：各装置画像で検出された天体カタログ

【開発状況A】 重複領域検索

http://smoka.nao.ac.jp/overlap_kcd.jsp

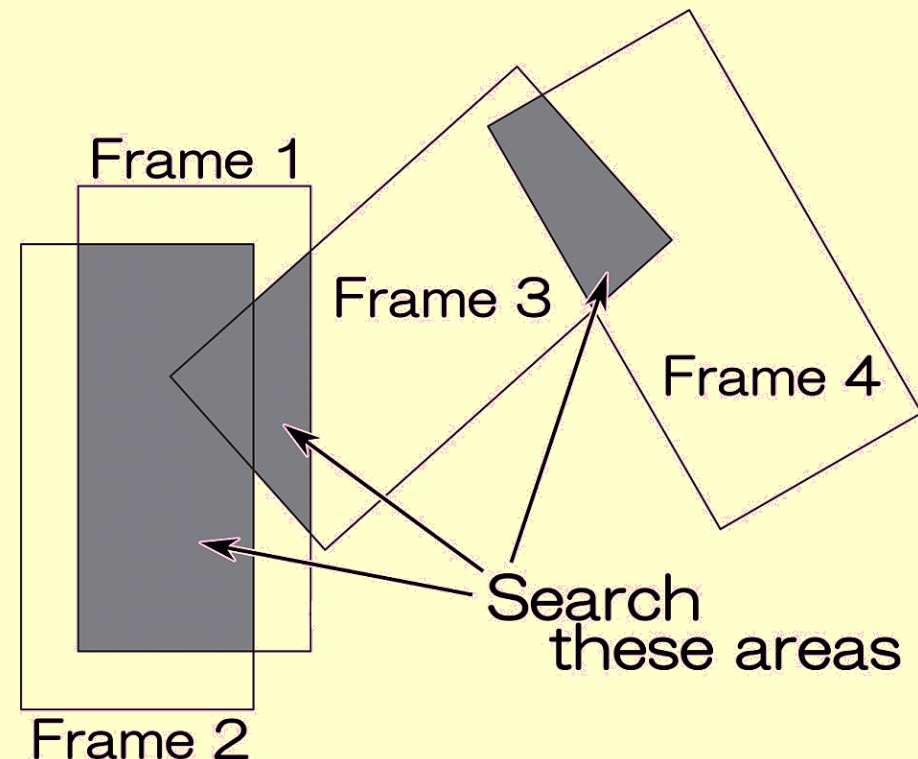
- 複数回 観測された領域を検索
 - 移動天体 (小惑星・彗星 etc.) の検出
 - 変光天体 (超新星・変光星 etc.) の検出
 - 深く露出 (or 複数フィルターで観測) された領域の検索
- HEALPix(*) を用いて

全天を約1分角の領域で 分割・
インデックス化し、データベース
に登録 することで実現

* <http://healpix.jpl.nasa.gov/>

現在の開発課題 (試験公開中)

- 露出時間・フィルター等の情報による検索
- 指定座標を中心とした検索

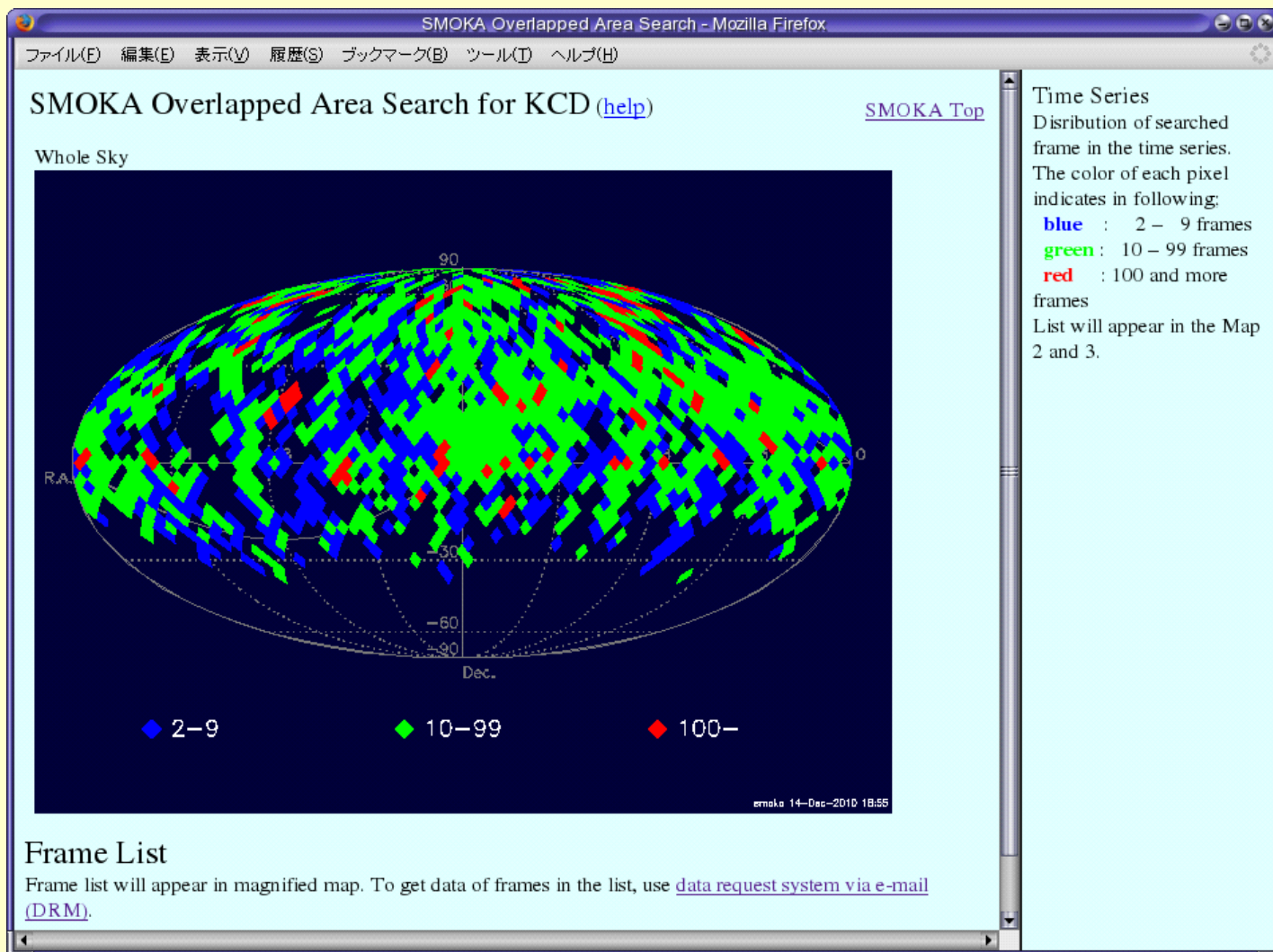


【開発状況A】

重複領域検索

http://smoka.nao.ac.jp/overlap_kcd.jsp

- 検索インタフェース

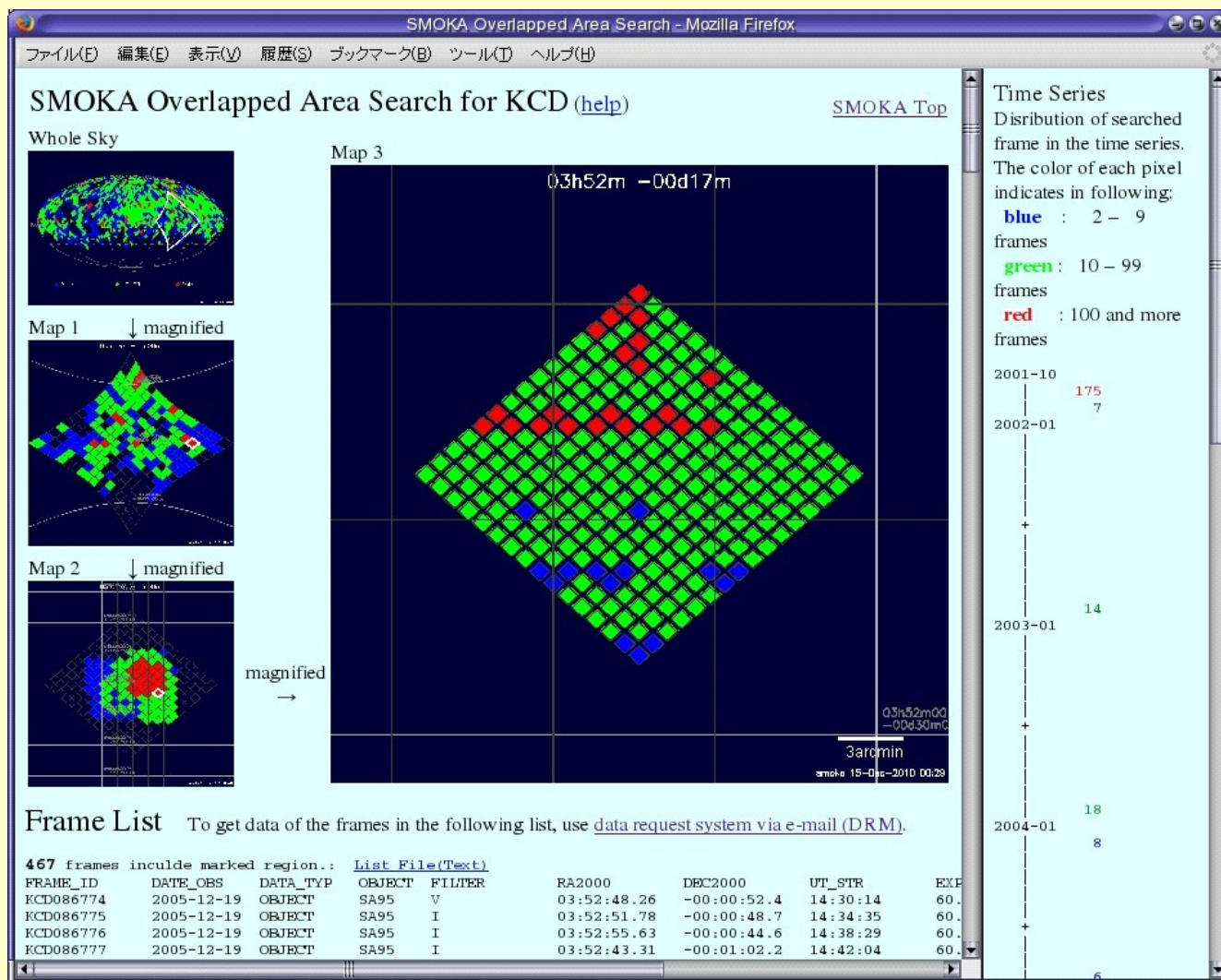


【開発状況A】

重複領域検索

http://smoka.nao.ac.jp/overlap_kcd.jsp

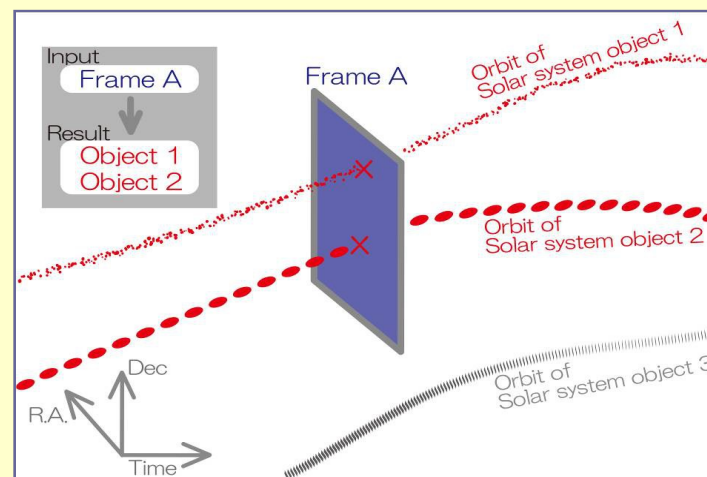
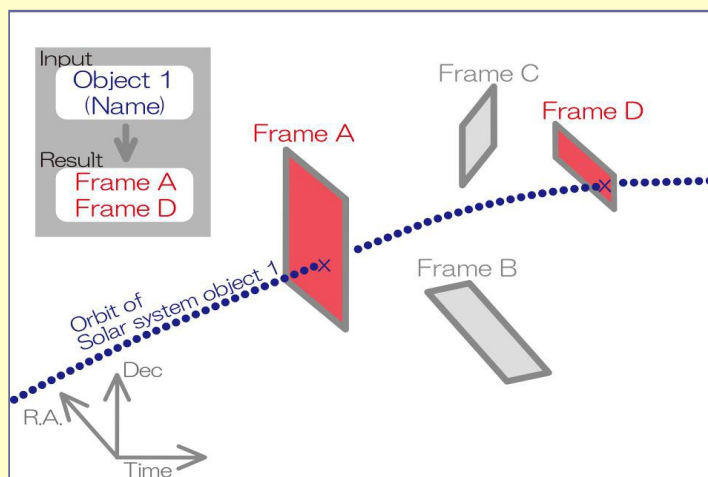
- 検索インタフェース



【開発状況B】 移動天体検索

<http://smoka.nao.ac.jp/MBSearch.jsp>

- 既知の移動天体 (小惑星, 彗星) を検索
 - 二つの検索方法
 - 天体名 (Object Name) で検索 (下左図)
 - フレーム ID (FRAME_ID) のリストで検索 (下右図)
 - チェック用 サムネイル画像 あり
 - 請求した FITS データには検出された天体の位置を示す Binary Table Extension が付加されている



- KCC、KCDへの拡張を計画中

移動天体検索 (詳細1)

- 移動天体名 (Object Name) で検索する
 - 移動天体名を入力して、それが写っている可能性のあるフレームを探す

名前解決のためのインターフェイス

SMOKA Archive Search for Minor Bodies

[Click here for Minor body Search by 'FRAME ID' list.](#)
[Click here to know how to Minor body Search.](#)

Search for Minor Bodies by Object Name.

*** This is a test version. All solar system objects are not included in SMOKA database completely. (2010)

1. Select Asteroid or Comet,
2. Select kind of the key-word
3. Input key-value/word, then

天体名を入力

Ryoma

Resolve Reset to defaults

検索結果

Result of SMOKA Archive Search for Minor Bodies

Search Conditions

OBJECT NAME	Instrument	Search Period	
		From	To
(2835) Ryoma [1982 WF]	SUP	2002-09-28	2009-07-15

Results

A link of "No." column will lead you to the detailed information of corresponding frame.

To view the object within thumbnail image of frames (up to 10 frames):
(1) mark checkboxes at "Data" columns of rows which correspond to the frames which you'd like to view,
(2) then push "View Thumbnails" button.
Note that the number of thumbnail images that can be displayed is limited to 10 images.

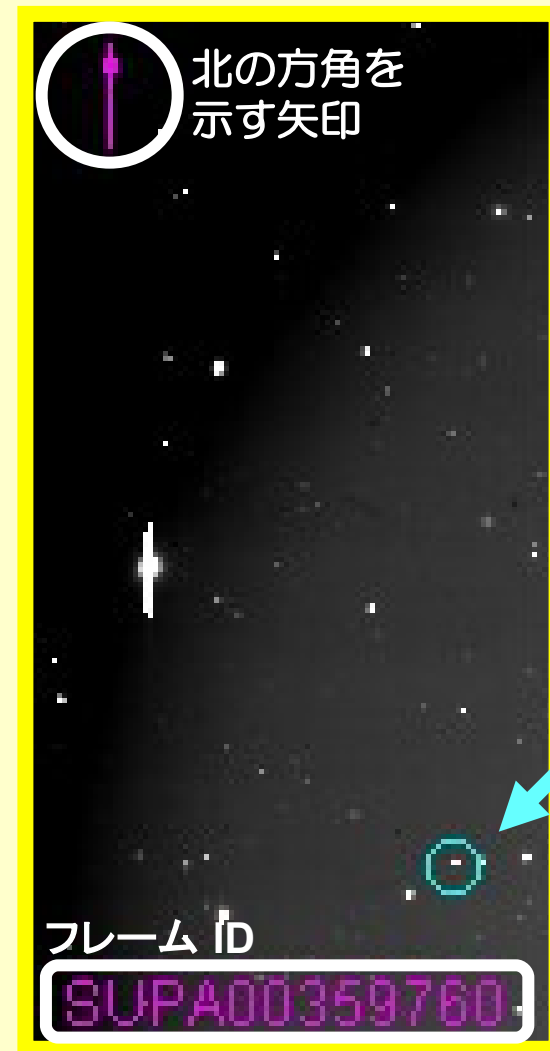
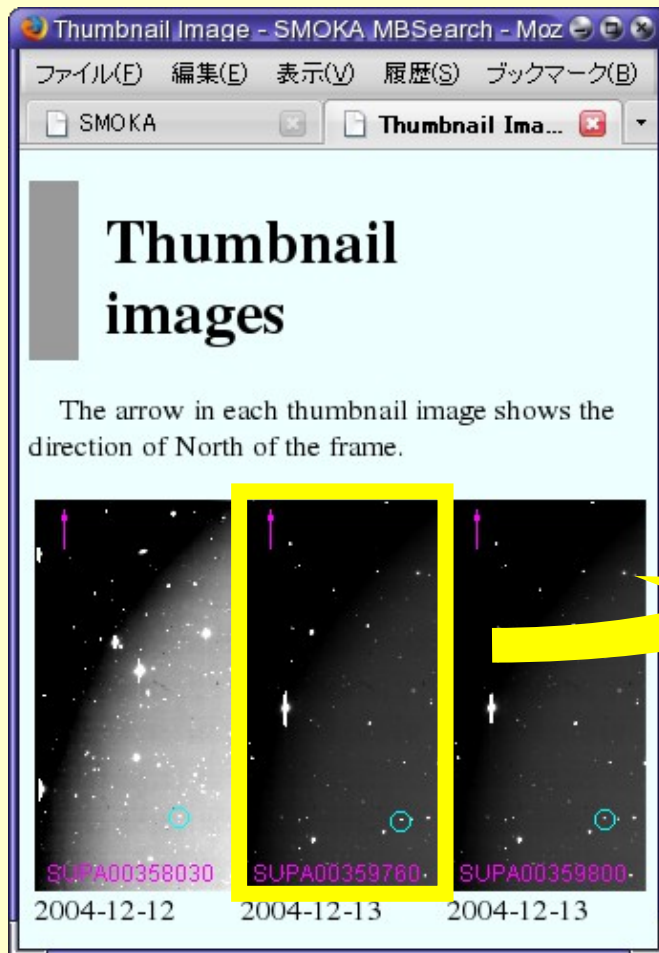
To retrieve data, mark checkboxes at columns of rows which correspond to the frames which you'd like to retrieve. The

View Thumbnails Datarequest

No.	Data	FRAMEID	DATE_OBS	Object Position [pix]				DATA_TYPE	OBJECT	FILTER	Int
				X	Y	Xerr	Yerr				
1	☒	SUPA00358030	2004-12-12	1511.0	786.0	UNDEF	UNDEF	OBJECT	F14	W-J-VR	22:21
2	☒	SUPA00359760	2004-12-13	1676.0	750.0	UNDEF	UNDEF	OBJECT	F37	W-J-VR	22:22
3	☒	SUPA00359800	2004-12-13	1641.0	764.0	UNDEF	UNDEF	OBJECT	F37	W-J-VR	22:22

移動天体検索 (詳細2)

- チェック用 サムネイル画像 の表示 (web 上で確認)

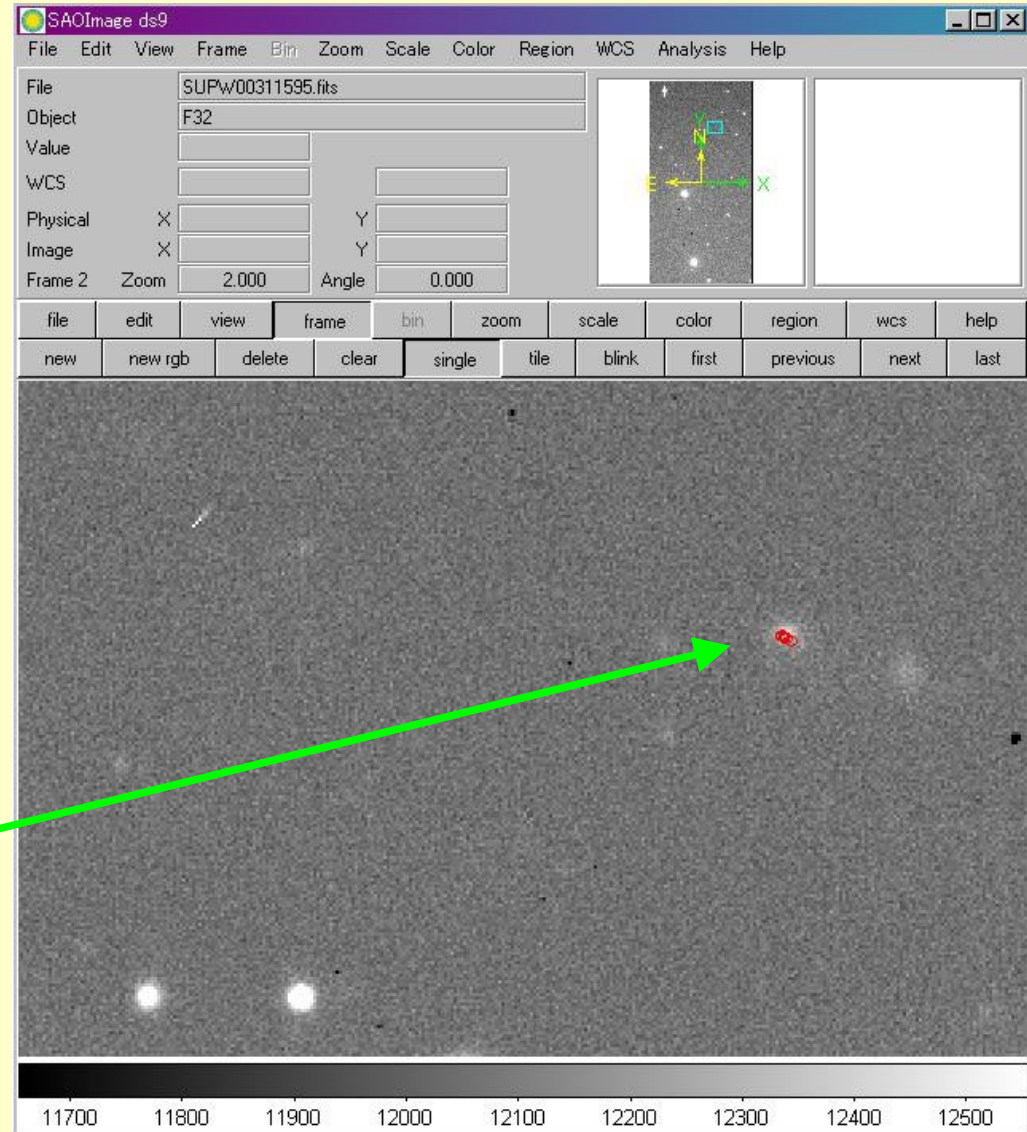


移動天体検索 (詳細3)

- 請求したFITSデータには
検出された天体の
位置を示す
Binary Table Extension
が付加されている。

DS9での表示例→

これが写っている天体

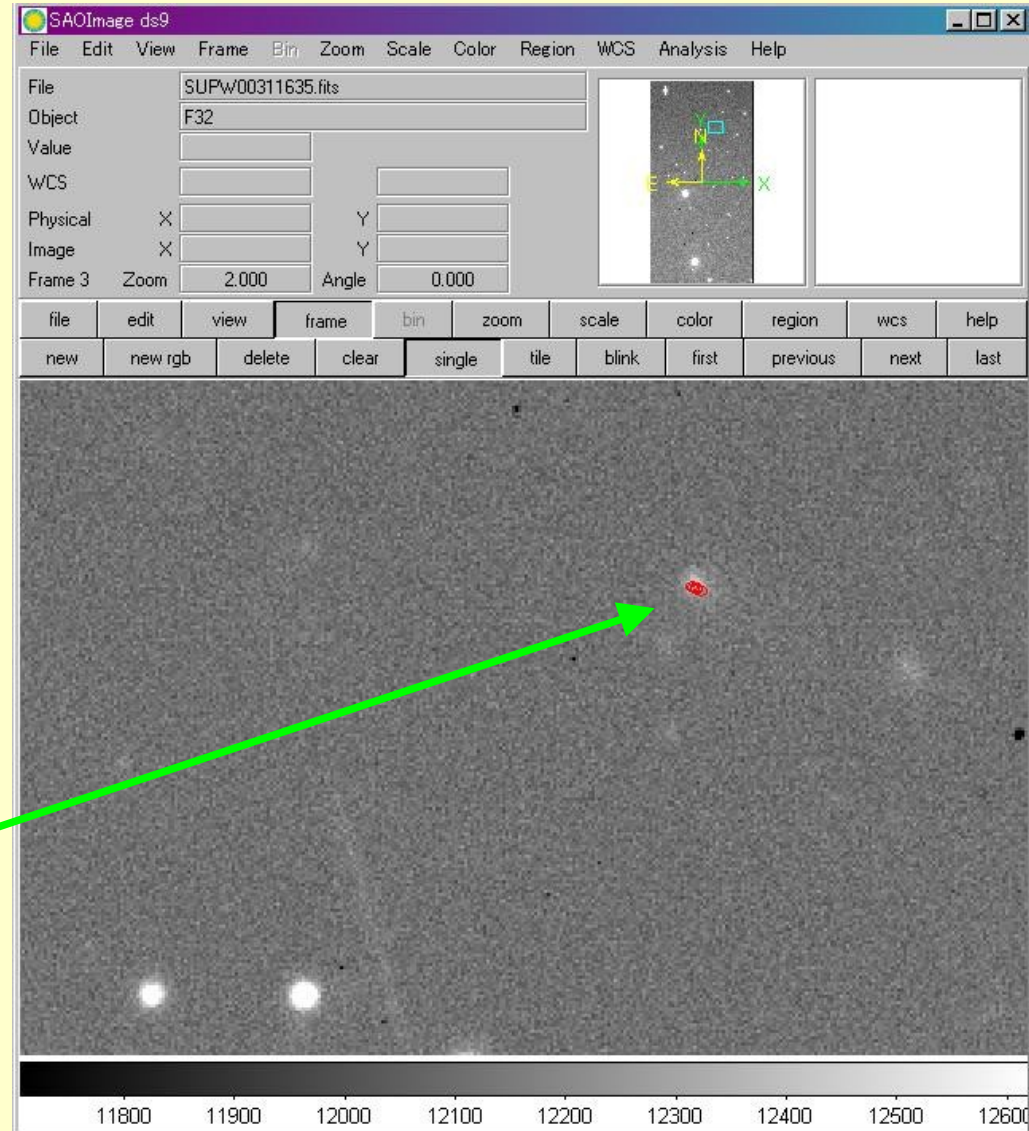


移動天体検索 (詳細3)

- 請求したFITSデータには
検出された天体の
位置を示す
Binary Table Extension
が付加されている。

DS9での表示例→

これが写っている天体

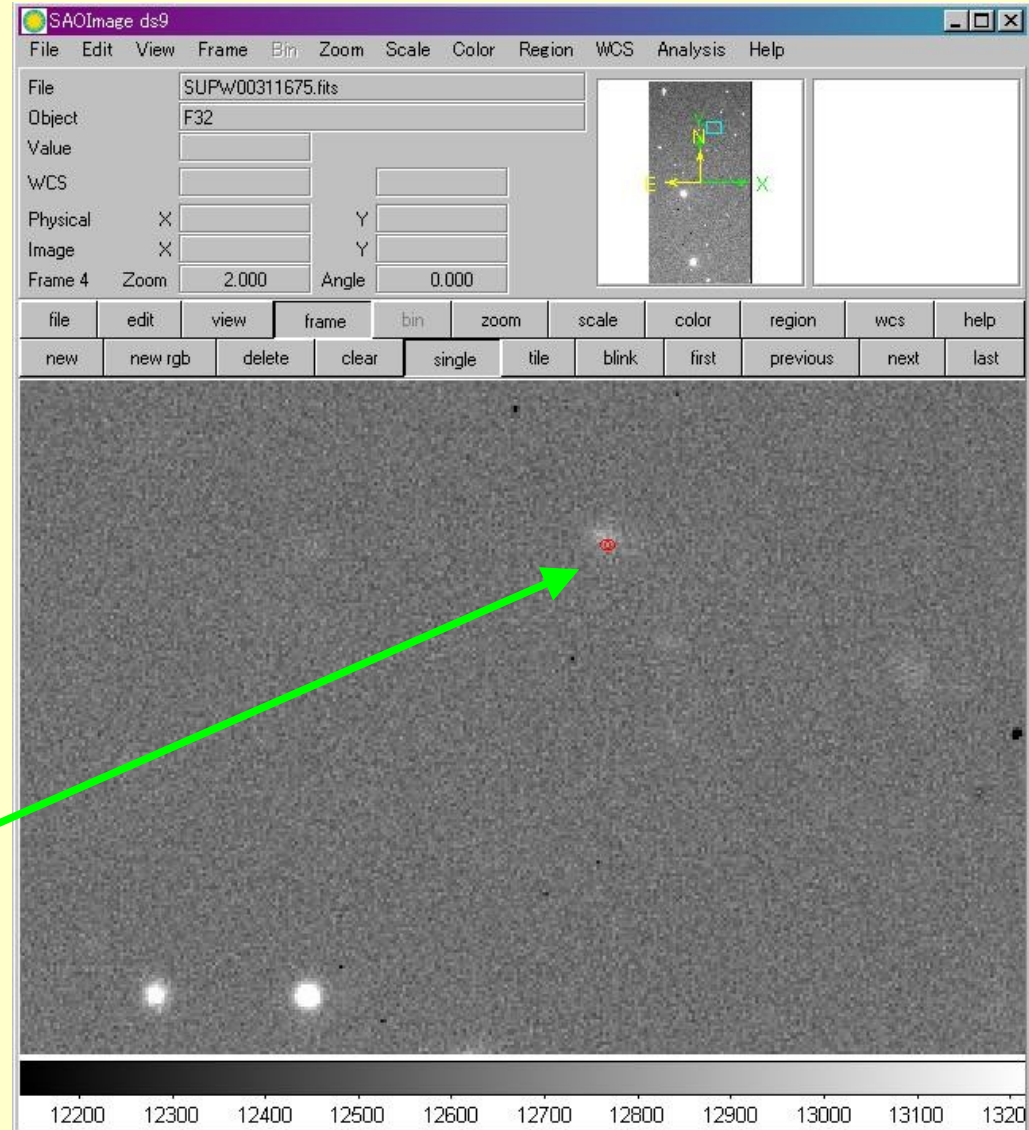


移動天体検索 (詳細3)

- 請求したFITSデータには
検出された天体の
位置を示す
Binary Table Extension
が付加されている。

DS9での表示例→

これが写っている天体



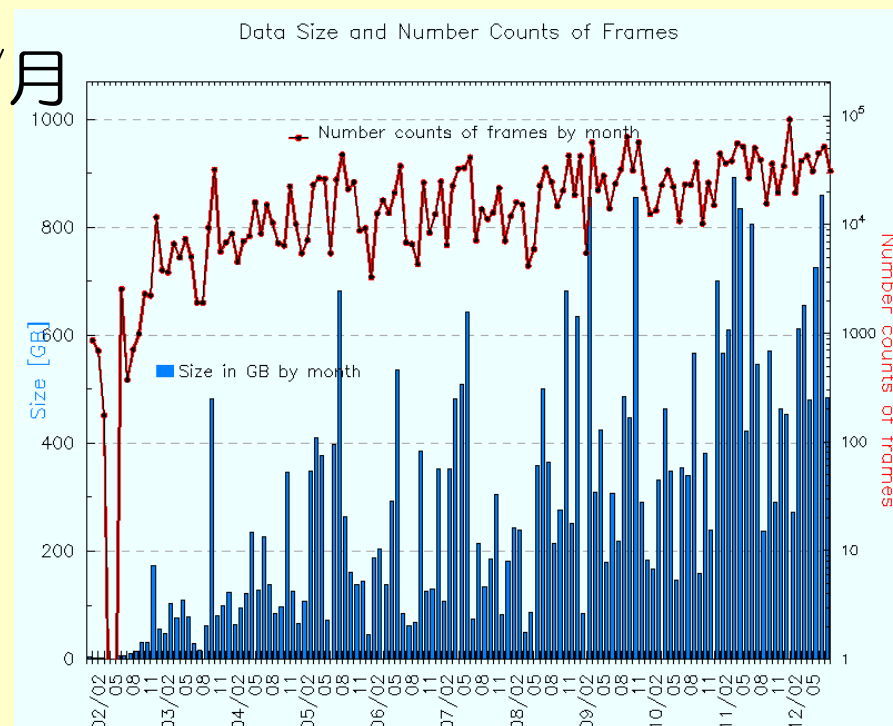
目次

- SMOKA の紹介と開発状況
 - SMOKA とは
 - 現状と将来計画
 - 開発状況
- SMOKA の利用状況
 - 利用者数・データダウンロード量
 - SMOKA を使った研究論文
 - 論文での利用用途の傾向

SMOKAの利用状況

<http://smoka.nao.ac.jp/about/drstat.jsp>

- ユーザー登録 (単年度登録)
 - 140 (2012.04.01 - 2012.08.01)
- データ請求
 - 5,000 ~ 60,000 frames/月
 - 100 ~ 600 GB/月
 - すばる/Suprime-Camが多い



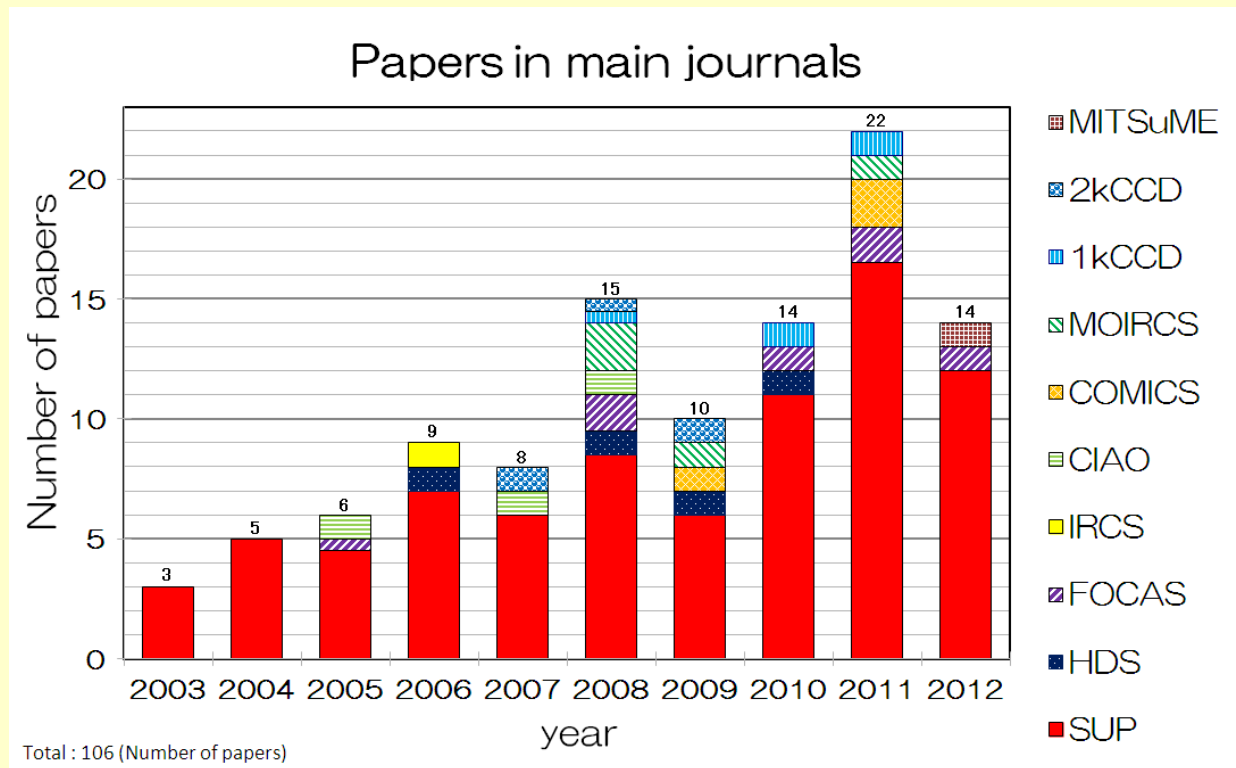
SMOKAから取得したデータを用いた成果

<http://smoka.nao.ac.jp/about/publish.jsp>

- 論文

- 2003-2012 : **106** 本

(A&A, ApJ, AJ, PASJ, MNRAS, PASP, ICARUS, etc.)



- SMOKA サイトにあるドキュメントを利用した成果がこの他に存在する

SMOKA を用いた研究の分類

- 利用方法と分野で分類

(1) SMOKA データのみによる研究：9

太陽系 3, 恒星 2, 銀河(近傍他) 1,
宇宙論 1, その他 2

(2) 主要データ(の一つ)として使用：32

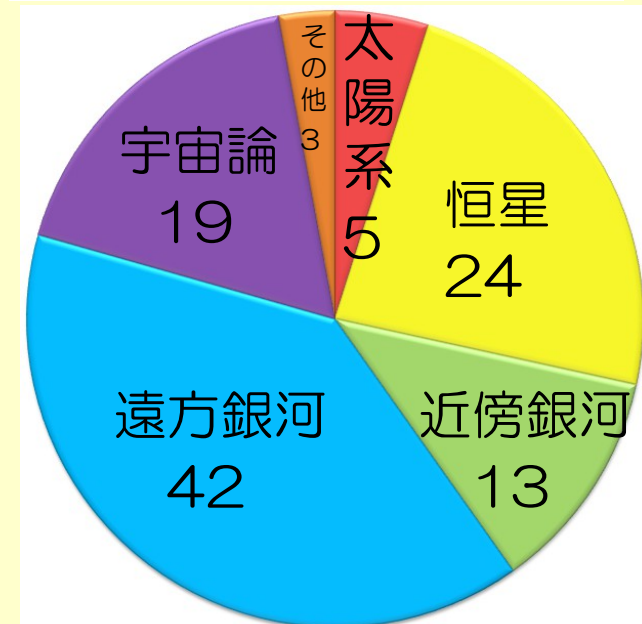
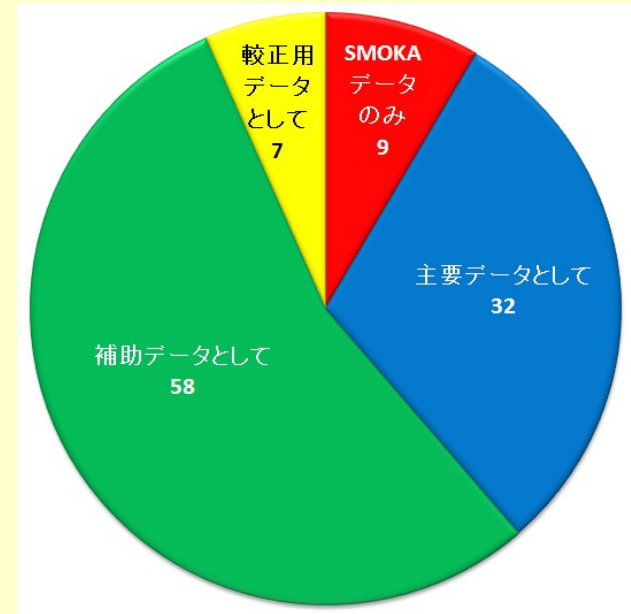
太陽系 2, 恒星 6, 銀河(近傍他) 4,
銀河(遠方) 14, 宇宙論 5, その他 1

(3) 補助的なデータとして使用：58

恒星 11, 銀河(近傍他) 8,
銀河(遠方) 27, 宇宙論 12

(4) 比較・校正データとして使用：7

恒星 5, 銀河(遠方) 1, 宇宙論 1



皆様へ

SMOKA を

どんどんご利用ください

おわり

目次

- SMOKAの紹介と開発状況
 - SMOKAとは
 - 現状と将来計画
 - 開発状況
- SMOKAの利用状況
 - 利用者数・データダウンロード量
 - SMOKAを使った研究論文
 - 論文での利用用途の傾向
- SMOKAのデータを使った論文の紹介

SMOKAを用いた研究論文の紹介(1)

- タイトルと著者

“SN 2009E: a faint clone of SN 1987A” A. Pastorello et al. 2012

- SMOKA的特徴

初のMITSuME(Akeno/ICRR) データアーカイブを使った論文

- 研究内容

この研究では、超新星1987Aに特徴が似ていると考えられる SN 2009E (NGC4141 中に出現) の時系列データを解析、モデルと比較し、過去の類似超新星の研究と比較し、これらのサブグループの特色を考察した。

- SN 2009EについてのSMOKA所蔵データ

SN 2009Eは発見直後の2009年1月3日に、*R*バンドで約17.9等であった。著者の調査では、**前年の**2月24日がSN爆発前の最後のNGC4141の観測であり、それがAkeno/ICRRであった(SNの位置には何も受かっていなかった)。

SMOKAを用いた研究論文の紹介(2)

- タイトルと著者

“The effects of dust on the optical and infrared evolution of SN 2004et”
J. Fabbri et al. 2011

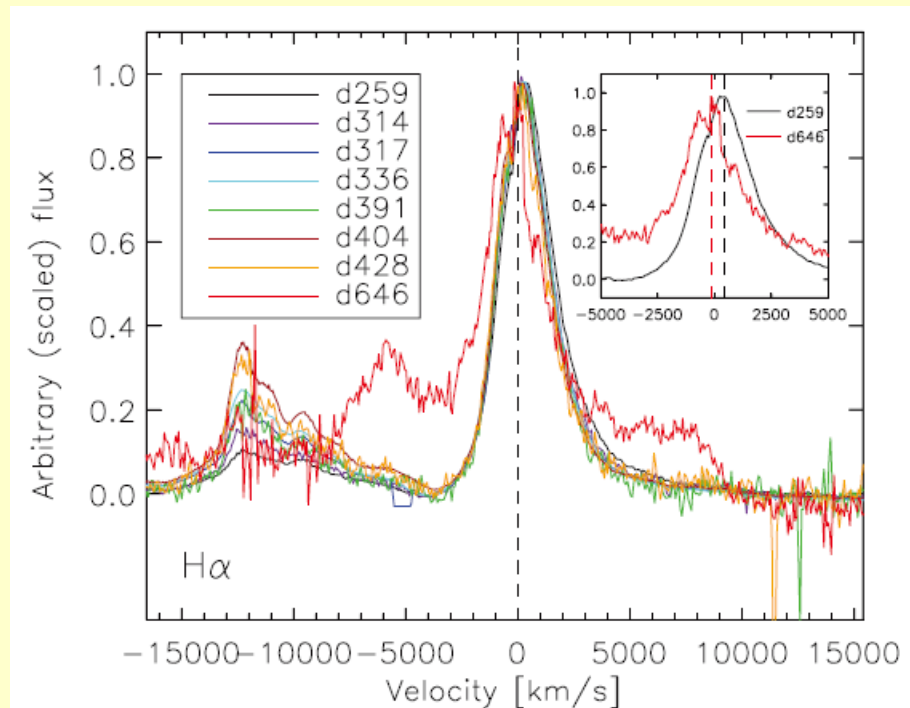
- SMOKA的特徴

$H\alpha$ と $[O I]$ による視線速度の変化を調べるために, Subaru FOCAS による分光データが使われている(爆発後646日目 of 観測).

- 研究内容

600~2000日の長期にわたる可視の分光・測光, 赤外の測光により, SN 2004en がどのようにダストを生成したかを多角的に調査している.

右の図は、 $H\alpha$ の視線速度を求めたもの。Day 646 がFOCASによるデータで、早期と比較してブルーシフトしているのが明確にわかる。



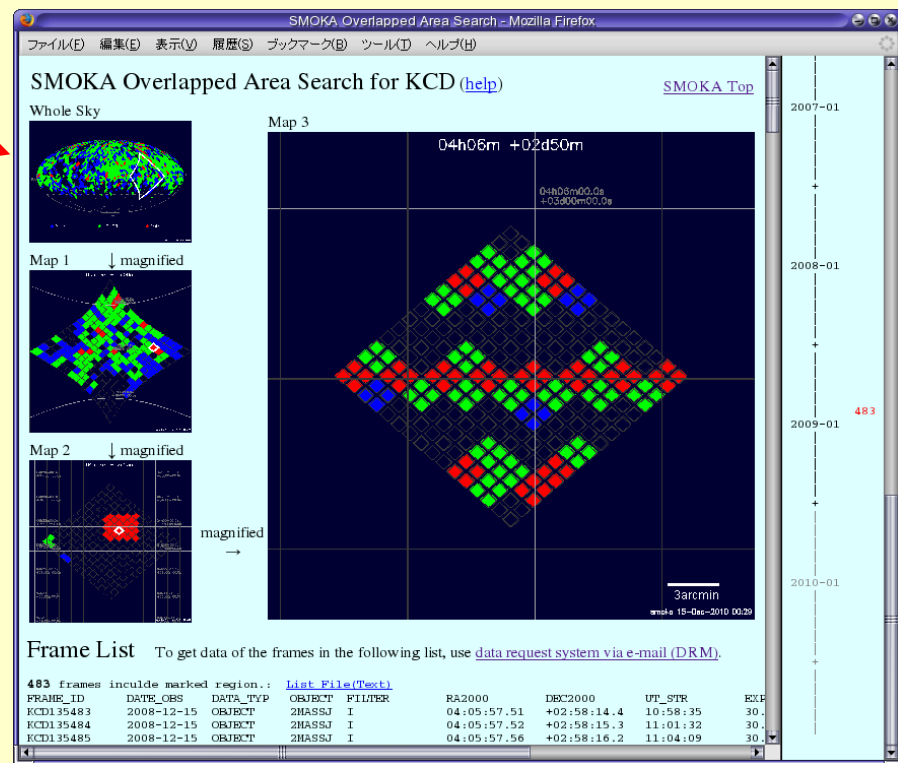
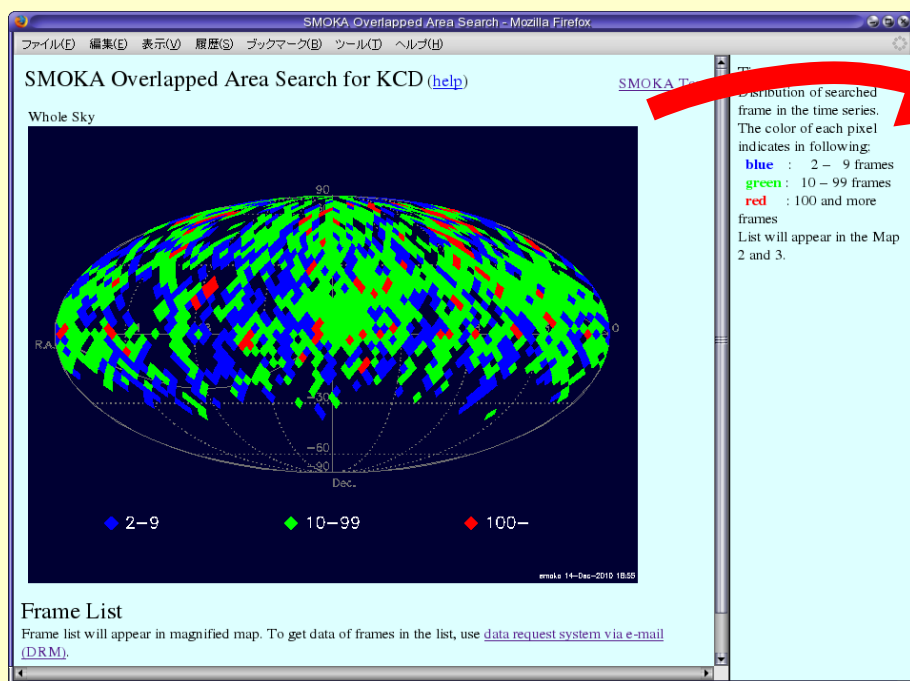
SMOKAを用いた研究論文の紹介

FAQ

- SN 2009E 論文について
 - どうして 1987A と同種の SN とわかったのか?
 - ライトカーブの形
 - MITSuME(Akeno) のデータはどう本質的なのか?
 - 事象前に受かっている(確かに超新星である)事が確認できた
 - 実は明野では無く、岡山のデータ(著者の間違い)
MTOA 0000293527 - 293562 : NGC4141
- SN 2004et 論文について
 - どうして青方偏移している?
 - 向こう側のものがダストで見えなくなった
 - FOCAS のデータは何の目的で撮ったものか
 - 観測者(Kawabata et al.)は別の超新星を
研究テーマにしたらしい(ついでに撮った?)

重複領域検索

- 重複して観測された領域を検索
 - すばる/Suprime-Cam (2010.01.27-)
 - 木曽/2kCCD (2010.12.16-)
 - 位置較正が済んでいるデータに対して導入できる
 - フィルターや露出時間での検索もできるように改造中。



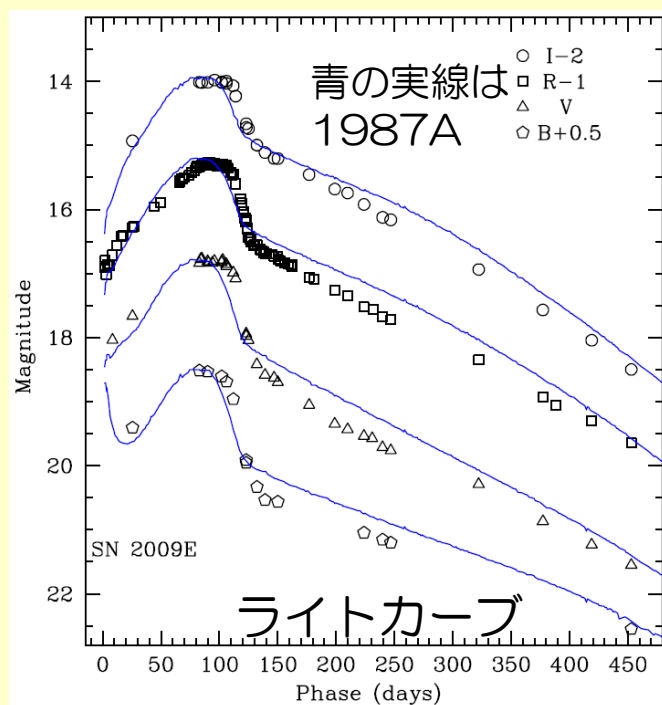
SMOKAを用いた研究論文の紹介(2)

- SN 2009EについてのSMOKA所蔵データ

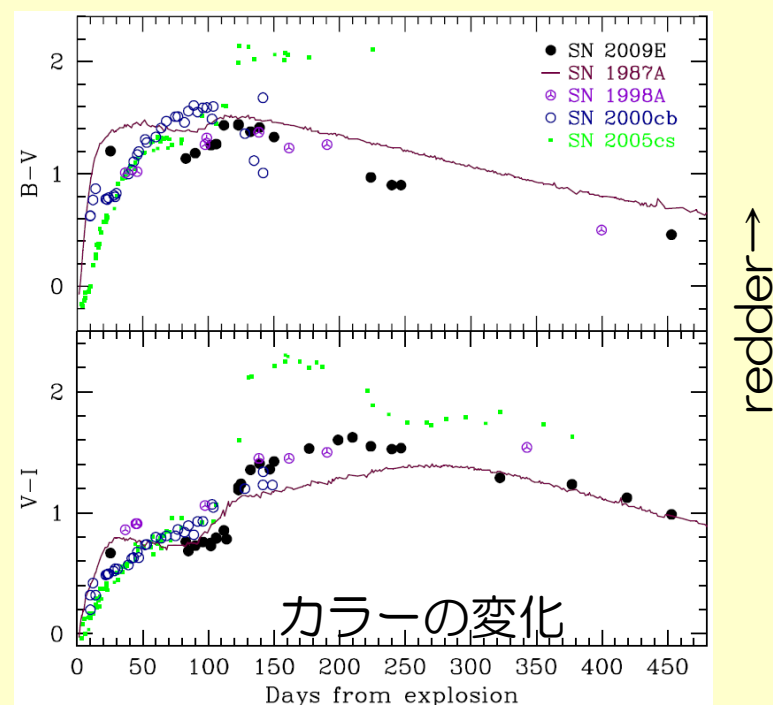
SN2009Eは発見直後の2009年1月3日に、*R*バンドで約17.9等であった。著者の調査では、前年の2月24日がSN爆発前の最後のNGC4141の観測であり、それがAkeno/ICRRであった(SNの位置には何も受かっていなかった)。

- SN 2009Eのライトカーブとカラーの変化

1987Aとそっくり

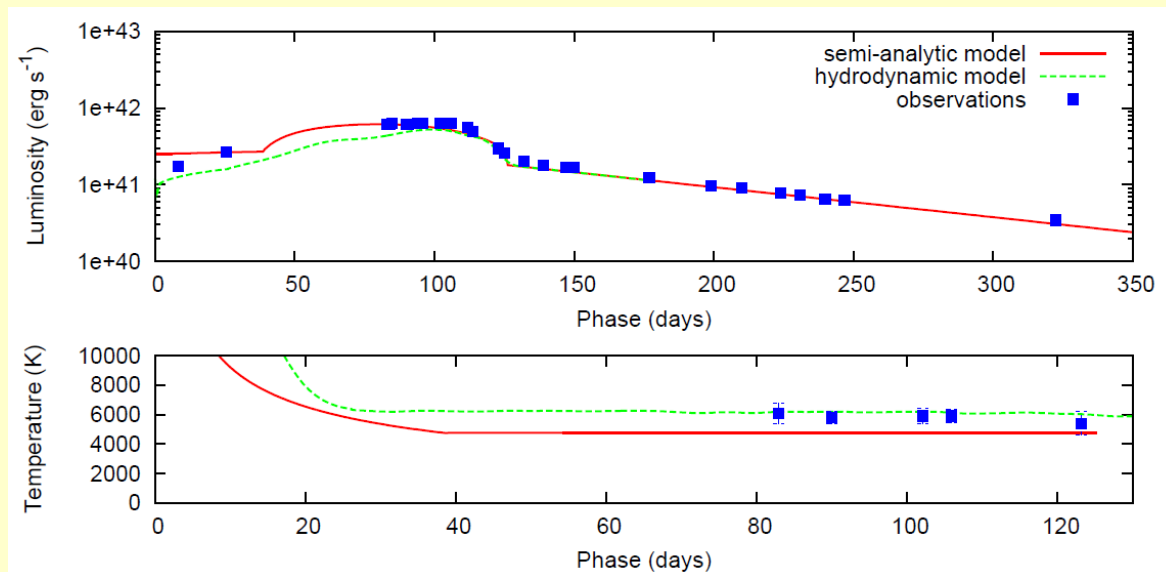


1987Aとよく似ている



SMOKAを用いた研究論文の紹介(3)

- モデルとの比較と物理量の見積もり



SN 2009E

爆発エネルギー: 0.6 foe

放出質量: 19太陽質量

SN 1987A

爆発エネルギー: 1.6 foe

放出質量: 18太陽質量
(Pastorello et al. 2005)

SNの典型的エネルギー: 10⁵¹erg = 1foe

- まとめ

- 約20の望遠鏡による観測データをかき集めて、SN 2009Eのデータを解析し、物理量の時間変化を求め、モデルと比較してSN 2009Eの爆発パラメータを求めた。
- 他の類似SNと比較したが、ホスト銀河も爆発パラメータも様々であった(あえて言えば、metal-poorな環境が多いか?)。

これまでの岡山のデータを使った論文

- (1) SN 2009E: a faint clone of SN 1987A, (1)9
(OAO / MITSuME), Pastorello, A. et al., 2012,
A&Ap, 537, A141